

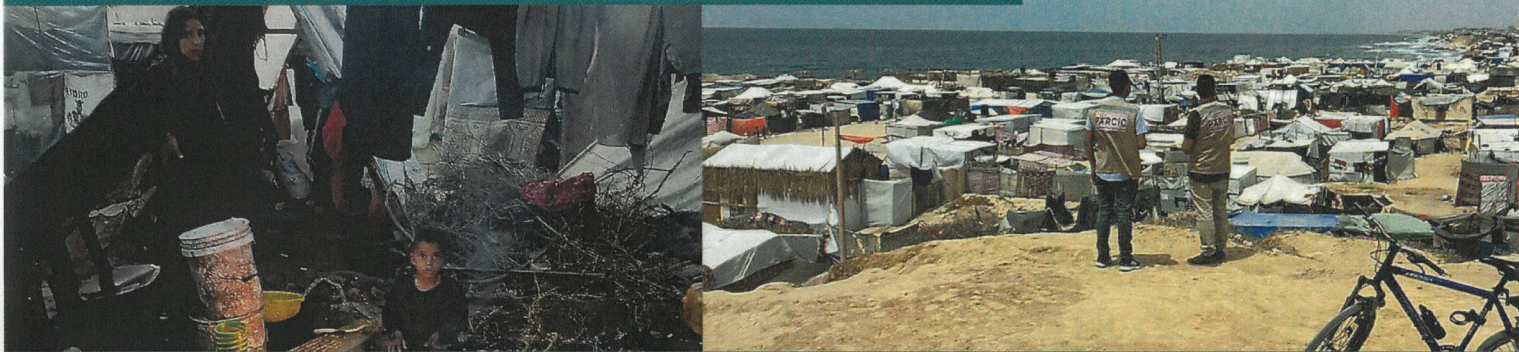
# ガザで何が起きているのか

NPO 法人パルシックのパレスチナ駐在員が報道だけではわからないガザの現状をお伝えします。  
自分たちに何ができるのか、考える機会にしませんか。

10/26 (土)

14:00-16:00

参加無料・要予約



なかなかない機会です。難しく捉えずぜひご参加ください。知ること、関心を持つことが支援の第一歩

パルシックではガザスタッフを中心にガザ地区で緊急支援を行っています。自らの命の危険がある中での支援。長く続く戦争で現地は戦争疲れが起きている出口の見えない悪夢が続いています。現地で生活している方々も特別な訳ではなく、私たちと同じように生活している普通の人々。そんなガザの人達の声を日本の人たちに伝えたい。パレスチナ駐在として日々、ガザからのメッセージを受け取っている彼女から発せられる言葉は臨場感があり、戦争を経験したことがない私でも想像が膨らみ興味が湧き質問が止まらなくなりました。どんなことでも質問していただけます。興味関心を持ち続けることが支援の第一歩になります。

## 特定非営利活動法人パルシック



国内、海外で活動をするパルシックは支援地域に常駐スタッフを置いて、緊急支援、復興支援、経済自立支援を行い、単発ではなく持続可能な状態を目指し支援を行っています。パルシックが大切にしているのは支援してあげる側、される側という関係ではなく「人間的で対等な、相互に支えあう関係づくり」。国家の壁を乗り越えて、各地に暮らす人々の中に身を置いて、長期的に活動しています。1月1日に起こった能登の震災ではスタッフが直後の7日から現地で人道支援を行っています。真っ先に行動して支援している姿からとても力強い想いが感じられます。

## 講演の内容 (見込み)

- ・ガザ地区で何が起きているのか、報道だけでは見えてこない状況、西岸地区を含む支援現場の状況およびガザの人々の声、日本市民への呼びかけについて。
- ・なぜ2023年10月7日のハマスによる越境攻撃が起こったのか。問題の背景にある歴史的、政治的な流れ
- ・ガザの人々の戦争以前の生活の営み、文化、食事など
- ・共催のわっぱんから「ガリラヤのシンディアナ」(パレスチナ北部のガリラヤ地方(1948年からイスラエル)、マジダル・クルム村と周辺の村々における非営利団体)について

## 開催日時

10月26日(土) 14:00~16:00

名古屋国際センター 第1会議室

名古屋市中村区那古野一丁目47番1号

「名古屋駅」から東へ徒歩7分、地下鉄桜通線「国際センター駅」下車すぐ

参加無料 会場に定員があるため必ず予約をお願いします

お問い合わせ: 名古屋生活クラブたねまきの会 TEL: 052-501-0251 (平日9:00~16:00)

FAX: 052-503-0967 FAXかインターネットからご予約ください

## 共催

わっぱん

## 後援

フェアトレードショップ・風's  
チェルノブイリ救援・中部  
クラタペッパー  
STA-涙の分かち合いアジア -  
NPO 法人 CDIC  
ガザ緊急アクションなごや

インターネットからのお申込みはこちらのQRから



10月26日(土) 国際センター ガザで何が起きているのか 講演会 参加申込  
氏名

電話番号: ( ) -

参加人数: 大人 名 こども 名 (年齢 )

お連れ様の氏名